

幕末・維新の 西洋兵学と近代軍制

大村益次郎とその継承者

竹本知行著

A5判・336頁／定価：本体6,300円(税別) ISBN978-4-7842-1770-0

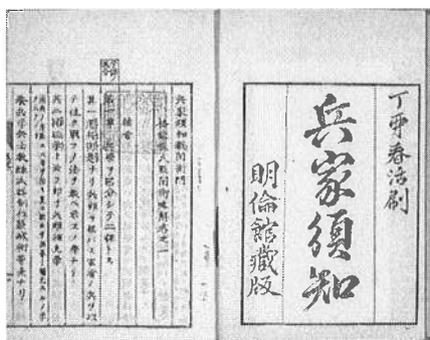
幕末・維新の動きの中で、先人たちは国際環境に自らをどのように位置づけ、どのように西洋から兵学を受容し軍制を確立していったのか——。日本という近代国家形成と国民形成の推進に大きな役割を果たした軍隊の創設の軌跡を、大村益次郎とその遺志をついだ山田顕義らの動向にたどり、その政治史上の特性を探る。 【2014年11月刊行予定】

内容目次

- 序 章
- 第一章 幕末期における洋式兵学の位相
- 第二章 大村益次郎における西洋兵学を受容
- 第三章 大村益次郎における西洋兵学の実践—幕末
- 第四章 大村益次郎における西洋兵学の実践—明治
- 第五章 大村益次郎の遺訓
——大島貞薫と大坂兵学寮の創業——
- 第六章 遺訓の実現
——陸軍の仏式統一と「徴兵規則」の制定——
- 第七章 廃藩置県と徴兵制度の確立
——「徴兵規則」と「徴兵令」の関係性——
- 第八章 「徴兵令」と山田顕義
- 終 章
- 関連年表／索引



大村益次郎



大村益次郎訳
『活版兵家須知戦闘術門』

竹本知行 (たけもと・ともゆき)

1972年山口県生。
1996年同志社大学経済学部卒業。2005年同志社大学大学院法学研究科政治学専攻博士後期課程退学。
2008年 同志社大学博士(政治学)。
同志社大学法学部助教。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	幕末・維新の西洋兵学と近代軍制		本体6,300円(税別) ISBN978-4-7842-1770-0	
お名前			tel		
			e-mail		
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代 引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)				

本書HPのQRコード

書店番線印

幕末期長州藩洋学史の研究

小川亜弥子著

幕末維新期の変革に洋学が如何なる役割を果たしたかを射程にすえ、この変革の重要な担い手となった長州藩の洋学の実態に、軍事科学化という側面から迫り、また洋学史的側面からのアプローチにより、長州藩明治維新史研究の空白を埋めることをも目指した意欲作。

▶A5判・284頁／本体6,800円(税別) ISBN4-7842-0967-0

佐久間象山と科学技術

東徹著

佐久間象山は、西洋の科学技術導入による国力増強を主張し幕末の諸藩に大きな影響をおよぼした人物として知られているが、象山の「知識」と「実践」をめぐる問題について具体的に分析し、幕末における科学技術の受容と水準を解明する。

▶A5判・284頁／本体7,600円(税別) ISBN4-7842-1101-2

西洋化の構造 黒船・武士・国家

園田英弘著

「蒸気船の時代」から始まった日本の近代化の特質と諸相を明かし、従来の近代化論に一石を投じる。

【内容】「極東」の終焉 黒船前史／蒸気船ショックの構造／海防の世界—共有世界の成立と展開／郡県の武士—武士身分解体に関する一考察／森有礼研究—西洋化の論理—忠誠心の射程 他

▶A5判・380頁／本体7,500円(税別) ISBN4-7842-0801-1

明治維新史という冒険

青山忠正著

佛教大学鷹陵文化叢書18

かつて「明治維新」は国家の模範、「勤王の志士」は国民の規範であったが、それらは国家が創りあげた虚像である。その本当の顔は身近な所に潜んでおり、明治維新の真の姿を見つけ出す作業は、文字通り冒険なのである。平易な文体と豊富な図版・地図で明治維新史の魅力を紹介する。

▶A5判・332頁／本体2,400円(税別) ISBN978-4-7842-1394-8

※近代日本と幕末外交文書編纂の研究

田中正弘著

外交文書の編纂事情、編纂した外交文書集の内容構成、諸本の性格、また徳川幕府外国方の編集構想から明治初期外務省の編集組織の確立過程、太政官における幕末外交文書編纂の開始事情とその後の推移など、広範な第一次史料を駆使してその全容をはじめ具体的に考察。

▶A5判・480頁／本体9,800円(税別) ISBN4-7842-0958-1

岩倉具視関係史料 [全2巻]

佐々木克・藤井讓治・三澤純・谷川穰編

憲政資料室所蔵文書・対岳文庫所蔵文書・内閣文庫所蔵文書に次ぐ、第4の岩倉具視関係文書群で、東京奠都のいきさつを示す史料や、閣議の議案や決議の過程がわかる史料など、これまでに他の史料集などで紹介されていない未刊行書簡や書類を多数収録。

▶A5判・総1108頁／本体24,000円(税別) ISBN978-4-7842-1659-8

鮫島尚信在欧外交書簡録

鮫島文書研究会編

黎明期日本の現地外交実務の態様、近代日本外交形成期における在外公館の位置と役割、それに近代日本の骨格となった諸制度の西洋からの導入経緯などを国外の視点からうかがうことができる。外交のみならず政治・教育・経済・軍事など学際的研究に寄与する貴重な史料集。

▶A5判・620頁／本体12,800円(税別) ISBN4-7842-0962-X

近代日本の軍部と政治

永井和著

日本近代政治史の気鋭が、「戦前の内閣」をとりあげ「軍人の内閣」というフィルターを通して内閣史に新たな光をあてる。

【内容】視角と定義／軍人首相内閣論／軍人閣僚と戦前内閣／現役将校の官界進出／政軍関係理論に関する一考察／初期内閣と帷幄上奏

▶A5判・450頁／本体8,600円(税別) ISBN4-7842-0770-8

洋学史論考

佐藤昌介著

思文閣史学叢書

明治維新の胎動を準備した大槻玄沢・高野長英・小関三英・福沢諭吉・渡辺崋山らの諸業績の分析を通して洋学の受容と発展を解明し、あわせて近代化に果した軍事の科学化と軍制改革・軍楽などを論じる著者最新の論集。

▶A5判・410頁／本体7,800円(税別) ISBN4-7842-0782-1

※近代西洋文明との出会い

杉本勲編

黎明期の西南雄藩

佐賀藩を中心とした幕末期の西南雄藩と近代西洋文明との出会い、またその受容の歴史を、関連する諸側面から掘下げ、近代化の諸相を明らかにする。

【内容】佐賀藩における西洋技術の受容／科学・技術教育の推進／西洋医学・博物学・蘭語学の展開／海外情報・文化受容の諸相

▶A5判・300頁／本体4,600円(税別) ISBN4-7842-0566-7

日本近代化の諸相

梅溪昇著

第一部に概論として明治維新史研究の論稿2篇、第二部に初期条約改正・陸海軍・日清戦争などの個別研究9篇、第三部に但馬・尼崎・紀州地域における近代化の特質と様相をさぐる諸論文8篇、さらに史料1篇を収める。いずれも史料と先行研究を踏まえた緻密な論文で、「梅溪史学」の結晶をみることができる。図表多数収録。

▶A5判・650頁／本体15,000円(税別) ISBN4-7842-0364-8

明治維新期の政治文化

佐々木克編

“19世紀における国際環境の中で、明治維新を考える”という京都大学人文科学研究所の共同研究「明治維新期の社会と情報」の研究成果をまとめたもの。政治史、文化史、思想史、精神史を融合した“政治文化”という視点から、明治維新期の諸問題にアプローチを試みた一書。

▶A5判・390頁／本体5,400円(税別) ISBN4-7842-1262-0

幕末期の老中と情報

佐藤隆一著

水野忠精による風聞探索活動を中心に

水野忠精を題材とした老中の情報収集を軸に、同時代の他の事例も交えて、幕末期の老中による政治情報収集の実態とその情報内容、さらにはこれらの扱われ方を実証的に分析することで、基本的な老中の情報収集ルートの枠組を明らかにする。

▶A5判・520頁／本体9,500円(税別) ISBN978-4-7842-1702-1

北垣国道日記「塵海」

塵海研究会編

北垣国道(1836-1916)は、京都府知事に就任した明治14年(1881)から北海道庁長官・拓殖務次官などを経て隠棲した明治34年(1901)までの活動や人々との交流を日記に書き残した。明治期地方官の実情を記し、京都のみならず中央政治史や地方自治・土木史・北海道史研究に寄与する資料。

▶A5判・652頁／本体9,800円(税別) ISBN978-4-7842-1499-0

※条約改正交渉史 1887~1894

大石一男著

明治21年(1888)黒田清隆内閣の大隈重信外相による条約改正交渉から、明治27年(1894)伊藤博文内閣の陸奥宗光外相による日英通商航海条約締結までの時期について、以下の三つの視角—日本側の交渉戦略・交渉戦術、交渉相手の欧米列国の動向、日本国内における諸個人・諸集団の協力・対抗・競合の側面—から分析する。

▶A5判・356頁／本体6,500円(税別) ISBN978-4-7842-1419-8

軍事技術者のイタリア・ルネサンス

白幡俊輔著

築城・大砲・理想都市

15世紀シエナの建築家、フランシスコ・ディ・ジョルジョの築城術のなかに共存する合理的な態度と非合理的な態度や、16世紀以降の築城術にも「理想都市」論的な要素がみられる点など指摘し、ルネサンス期の築城術の変遷過程を問い直す。現存する城郭の写真を多数収録。

▶A5判・294頁／本体5,600円(税別) ISBN978-4-7842-1625-3

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。